

第9回経済建設常任委員会 概要報告

年月日	平成26年5月19日	会場	名寄庁舎第一委員会室	案件	名寄市主要建設事業概要 について他
出席委員	竹中憲之、山口祐司、佐々木寿、佐藤靖、山田典幸、上松直美				
委員外議員					
欠席議員					

議 題

建設水道部

- 1、平成26年度名寄市主要建設事業の概要について
- 2、低炭素まちづくり計画について
- 3、平成25年度除排雪について
- 4、市道で発生した事故の専決処分について
(東8号道路等の道路路肩破損にかかわる車両破損事故5件について)

経済部

- 1、名寄市企業立地促進条例の一部改正について
- 2、名寄市木質バイオマス利活用調査報告について
- 3、平成26年度農林業施策の概要について
- 4、平成26年度商工労働観光交流施策について
- 5、その他
 - ① 4月4日の大雪によるハウス倒壊被害について (10戸15棟・被害金額266万円)
 - ② 豚流行性下痢 (PED) の発生について

討 議

建設水道部

- 問 以前の破損事故報告時にスポーツセンター側の道路補修を進めたいとの答弁がされていたが、今年度の予算で何処に措置されているのか、既に着手されているのか
- 答 本年から南小学校の改築に伴う道路の整備、改良の中で解決がされると思う、単独での工事は考えていない
- 問 防塵舗装の一定の規格が必要と考えるが
- 答 道路により幅員が違うため最低限、危険の無いような施工を考えているが、今後の施工については内部議論させてほしい
- 問 低炭素計画書の中で「地域交流センター」と記載されているが、現在は「仮称・市民ホール」とされている。意思統一と文言の統一を図るべきだ
- 問 東8号道路は近年交通量が多い、抜本的な対策を考えるべきではないか
- 答 国の予算措置にもよるが次年度の全面補修計画を考えている

経済部

- 問 木質バイオマス利活用で、原材料が不足しているのなら、私有林や道と道有林活用の契約で安定供給を考えるべきではないか
- 答 研究する課題は多い、北海道との協議も考えたい
- 問 農業チャレンジ事業で農業後継者育成奨学金がネックになっている、事業の中身について検討する考えは
- 答 青年団体等との話し合いを進める予定をしている、検討すべきものは検討する

問 経営所得安定対策の振興作物が J Aと違っているのでは

答 J Aとの協議機関があるので整合性を取っていきたい

問 旧公設市場の場所は都市計画地域で準工業地域の指定を受けている、業者が運営できるのか

答 都市計画審議会の方で用途を外して頂くことで対応している、道審議会の決定後となるが都市計画審議会削除後は問題ないを考える

問 「よろ一な」では賑わいはできているが、商店街の賑わいづくりの見解は

答 中心市街地活性化、3・6の有り方について商工会議所、商店街連合会と対応していきたい

報告者 経済建設常任委員長 竹中憲之